令和元年度 大分市教育実践記録 資料

自己の生き方についての考えを深める 道徳科授業の構想 ~多面的•多角的な思考を促す発問を通して~

2020.1

大分市立明治小学校 長濱 修司

1.研究主題

自己の生き方についての考えを深める 道徳科授業の構想

~多面的・多角的な思考を促す発問を通して~

2.研究主題設定の理由

「社会情勢の変化」

〇グローバル化の進展や科学技術の進歩



OSNSによるトラブルの増加

〇不登校

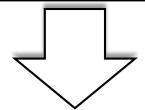
〇いじめ問題の深刻化



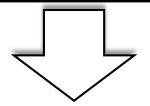
よりよく生きるための基盤となる資質・能力を養う道徳教育の役割はますます重要となっている。

H25.12.26 「今後の道徳教育の改善·充実方策について(報告)」 道徳教育の充実に関する懇談会

- ①教員をはじめとする教育関係者にもその理念が十分に理解されておらず、効果的な指導方法も共有されていない。
- ②地域間,学校間,教師間の差が大きく,道徳教育に関する理解や道徳の時間の指導方法にばらつきが大きい。
- ③授業方法が、読み物の登場人物の心情を理解させるだけなどの型にはまったものになりがちである。
- ④学年が上がるにつれて、道徳の時間に関する児童生徒の受け 止めがよくない状況にある。



年間35単位時間を確実に確保する



自分自身の問題として捉え向き合う「考え、議論する道徳」への





大分市道徳指導ハンドブック 魅力ある道徳授業の展開 ~ 「特別の教科道徳」(道徳科)の実施に向けて~ H30.3 大分市教育委員会

道徳科に生かす指導の工夫

平成30年度 大分県道徳教育指導資料 「道徳科」評価と授業構想の在り方 改訂版

H31.3 大分県教育委員会

第4章 道徳科の授業構想第5章 道徳科の指導法の工夫

「授業実践の振り返り」

2.研究主題設定の理由

- 〇道徳的価値観の押し付けや、わかりきったまとめ
- 〇教材分析が足りていなかった。



〜 一方的で押し付ける道徳

発問の構成 に大きな課題がある

発問の言葉は? いつ? 何回? 意図は?

発問とは・・・

子どもの思考や活動を促し、子どもが自ら考え、活動したくなるもの。



授業のねらいに到達する。 問題の解決につながっていく。

加藤 宣行(2015)

「主題について考えたいという問題意識をもつこと により、 意欲的に学習に取り組むことができる。」

道徳科における発問の工夫

「教師による発問は、児童が自分との関わりで 道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、 物事を多面的・多角的に考えたりするための 思考や話合いを深める上で重要である。」

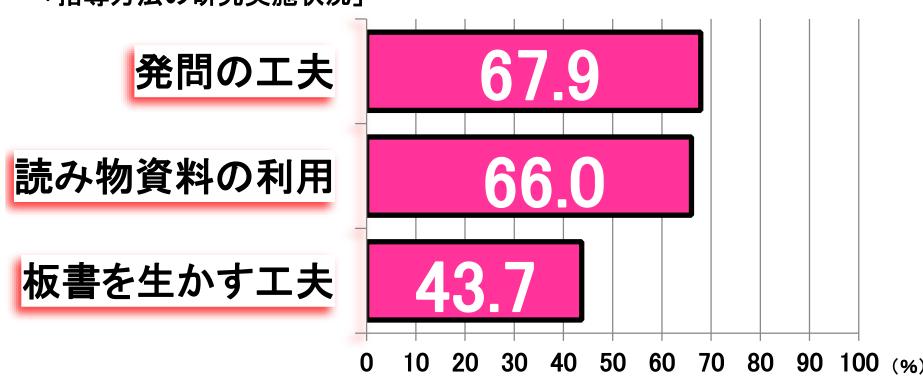
発問によって、児童の問題意識や疑問などが生み出され、多様な感じ方や考え方が引き出される。

3.研究仮説

道徳科において. 多面的・多角的 な思考を促す発問を通した授業展 開を行えば. 様々な感じ方や考え 方に触れ. 道徳的価値の理解を深 め, 自己の生き方についての考え を深めることができるであろう。

①全国の意識調査について 「指導方法の研究実施状況」

4.研究の内容 (1)文献調査・先行研究調査



発問の工夫について悩み、模索している状況がある。

②多面的・多角的な思考を促す発問 多面的・多角的な思考とは・・・

上地 完治(2015)

「正解を伝達することではなく、考えるというプロセス 自体が非常に重要になってくる。」

柴原 弘志(2016)

「多面的とは一面的ではなく, 様々な面をもっていること, 多角的とは自分や自分以外の立場から考えたり, 過去や未来の時点だったらと考えたりすることである。」

発問の工夫(案)

主人公に共感させることに固定化しない

他の登場人物

登場人物から離れて客観的に考える 自分ごととしてとらえる

スウ

ベアマン

ジョンジー

立場や場面などを変える

「最後のひと葉」挿絵より 小学道徳 ゆたかな心 6年 出典:光文書院

考えの違いを整理する

考えの違いを問い返す

教師の 発問

! 多様な感じ方や考え方に接し、見方を発展させ、生き方に ! ついての考えを深めていけるようにすることが重要となる。

「定義1」

「多面的・多角的な思考を促す発問」

道徳的価値を様々な面から捉え たり、他者の意見を取り入れるな ど物事を多角的に考えたりしなが ら、自分の考えを高めていく発問 のこと。

道徳科の特質

道徳科は、児童一人一人が、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、内面的資質としての道徳性を養っていく時間である。

道徳性を構成する諸様相

道徳的判断力 ⇒それぞれの場面において, 善悪を判断する能力であり, 様々な状況 下において, 人間としてどのように対処することが望まれるかを判断 する力である。

道徳的心情 ⇒善を行うことを喜び、悪を憎む感情であり、人間としてよりよい生き方 や善を志向する感情である。

道徳的実践意欲と態度

⇒道徳的実践意欲は,道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的 価値を実現しようとする意志の働きであり,道徳的態度は,それらに 裏付けられた具体的な道徳的行為への身構えである。

②自己の生き方について考えるとは

教師の役割

児童が自己の生き方の指針をもとうとする動機付けをすることであり、働きかけによって自己を見つめることへと促すものでなければならない。

赤堀 博行(2010)(2016)

「自己や社会の未来に夢や希望をもち, **意欲的に生きていこうとする思いや願いを深めること**が大切である。」

「自分との関わりで道徳的価値について考え, 道徳的価値を視点に自 分自身を振り返ることができるような授業を組み立てること。」

自己の生き方についての考えを深める

道徳的価値の理解を基に

自己を見つめ



物事を多面的・多角的に考えることを通して

- (1)これまでの生き方を振り返る。
- ②これからの生き方を考える。
- 3自分の道徳的価値観をより明確にしていく。

☆書く活動を取り入れてみる

自分の考えを文字にし、自分の考えを見つめる。



終末での発問

「あなたが考える(思いやり)とは, どんなことですか。」 ()には, ねらいとした道徳的価値を入れるようにする。

発問 ⇒ 書く(考え)

⇒ 友達に伝える(議論する)

評価に生かす

自分の考えをワークシートに書く



の活用例



教材名「

年 組

番 名前(

自分の考え 課題後に、)課題に対する自分の考えを書く。

てようにする。

目分の感じたことや、 考えたこと

終末の 自己の生き方についての考えを書く。 道徳的価値について、どのような考え をもつことができたかを書く。 始 の考えを振り返るために。 めに、 書くようにする。

	自己評価				
③ これからの生活に(続けて)生かしてみようと思った。	② 自分とはちがう友達の考えのよさを見つけた。	① 「道徳的価値」について自分の考えをもった。	「教材名」を振り返ってみよう		
			∅∆		
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\) (e) k		

19

具体的な子どもの姿として **C2**

今ま 姐 と思り X 相手 1) 0 0 180 2. は 自公 七自分 のことより i 0 3 とか優 相 手 先 を大 打

自分のこととして捉えている道徳的価値の記述。 自己の生き方について考えを深めた記述。

田 M 17" 17 石 人た 思 かく 10 た 他 相手の に、て も失敗は 自分だ れる とを優先 け自己

自己の生き方について考えを深めた記述。

犯罪

くな

と思い

24

ないこ

い田にました

思

Th

1

4

20

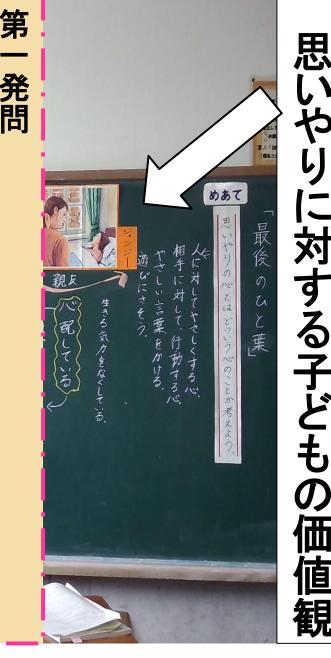
自分のこととして捉えている道徳的価値の記述。

「定義2」

「自己の生き方についての考えを深める」

道徳的価値に関わることを自分との関わ りで捉え直し、自分自身の課題を見つめた り. 自分の生活を振り返ったりしながら. こ れからの生活で実現していきたい思いや願 いを深めること。

(登場人物の心情や考えを明らかにする発問) 自分の考え 一き方を明 一発問 深める場面 多面的• 多 角 自己の生き方についての考えを 的な思考を促 す場面 他人へ とめ 八のそうから思でる「こみあげてきた ベアマンの思い 助けたいという思い すること。 思 いやりがあった。 人の役に立つ 後のひと葉をかた たから出てきた きせいにしてまでも ボランニー への日かい 生きてほしい



第2発問後の話合い



自己の生き方についての考えを交流する



自己の生き方についての考えを深める(まとめ)



5.研究の実際

- (1)検証授業後の実際と考察
 - ①自分の考えについての見取り

第1発問

「ベアマンは、最後のひと葉をかこうとしたとき、どんな思いをもっていたと思いますか。」

i ワークシート

- C1なんとしてでも、もとのジョンジーにもどってほしいとい う強い思いがベアマンにはあったんだと思う。
- C2スウのためにも、ジョンジーに生きてほしかったと思いました。
- C3最後のひと葉がなくならないようにしようという思いを もっていた。自分の命より、ジョンジーの命を大切にす るという思いをもっていた。
- C4ジョンジーに生きてほしいと強く願っていたからだと思います。

5.研究の実際

②自己の生き方についての考えを深める見取りについて

「あなたが考える思いやりの心とは、どんなことでしょうか。今日の授業を振り返り、自分 の感じたことや考えたことを書きましょう」

ii ワークシート

- C1自分が生きていて動けるのならば, なにがなんでも助けようとして行動にうつした。他人への思いやりがあった。
- C2自分がきつくても、人のためを思って行動することが 思いやりだと思います。
- C3自分のことを後回しにして、他の人が喜び、その人が ありがとうと思ったことをするということが思いやりと思 う。
- C4ジョンジーを助けたいという思いを心で思うだけでなく、行動にも表しているので思いやりだと思う。

- (1)検証授業の実際と考察③その他に、研究から見えてきたこと
 - ~効果的な発問~

今もっている価値観を表出させ、それに気付かせたり、新たな見方や考え方が追加されたりしたことが成果

- ①深める ⇒(道徳的価値)とは,何ですか?(道徳的価値)とは,どういうこと?
- ②追求する⇒どうしてそう思ったの? <u>どうしてそう思うの?</u>►
- ③詳述する⇒もっと詳しく教えて?
 自分の言葉で説明して?
- ④切り返す⇒みんなは、どう思う? みんなも、そう思う?
- ⑤関連する⇒自分にも経験ある? □

- T:思いやりの心とは, どういうこと?
- C:思いやりの心とは、自分のことより相手のことを 優先して考えて、それを実行に移す心だと思 います。
- T:どうしてそう思う?
- C:自分を犠牲にしても、人に生きてほしいと思っているから。
- T:同じでも, 自分の言葉で説明して。
- C:葉っぱを真剣にかいて、その思いが伝わった から、生きる気持ちにつながった。
- T:こういう経験はあるかな?
- C:うん。心配してあげるはみんなあるやろ。困ったりしたら、心配してあげる。

(2)検証授業の実際と考察 ④研究の図式化

子どもの価値観

5.研究の実際

第1発問

登場人物の心情や 考えを明らかにする 発問

効果的な発問を組み込む



多 面的 多角 的 な思考



自分の考えや生き方 を明らかにしていく 発問



自己の生き方についての考えを深める

(2)検証授業後の実際と考察

⑤自己の生き方についての考えを深める見取りについて

iii 自己評価

	よくできた	できた	もう少し
①道徳的価値の理解	93.8	6. 2	0.0 (%)
②多面的・多角的な			
思考が促されていたか。	93.8	3. 1	3. 1 (%)
③自己の生き方につい			
ての考えを深めること	75. 0	18. 7	6.3 (%)
ができていたか。			

研究のまとめ

①第1発問と第2発問の構成

②高学年の内容項目

A主として自分自身に関すること B主として人との関わりに関すること C主として集団や社会との関わりに関すること D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに 関すること での検証による成果と課題

還元方法

- ①明治小学校 放課後セミナーの開催
- ②道徳科 提案授業の実施
- ③道徳教育研修の実施
- ④若手に限らず、全教職員への周知 (第1発問と第2発問の構成 を活用した授業実践)
- ⑤道徳科の研究の継続

ご清聴ありがとうございました。

